

2012-13年度
国際ロータリー会長
田中作次

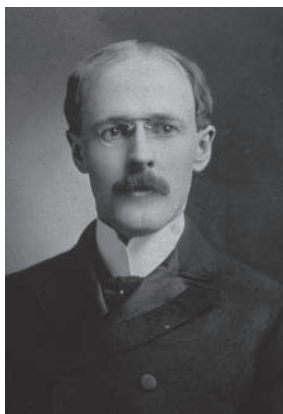
創造 挑戦

「クラブ改善のヒント」

2022年11月27日
国際ロータリー第2620地区
PRE-PETS 資料

ポールハリス

S.Tanaka



1916年、ロータリーの創始者、ポール・ハリスは、「ザ・ロータリアン」誌に寄稿した「ロータリーの未来」(The Future of Rotary)という記事の中で、ロータリーに対する自身の思いを語っています。

ハリスは、この短い寄稿文の終わりを、ロータリー世界全体に向けた新年度の願いで締めくくっています。2010-11年度の開始にあたり、ロータリー創始者のこの言葉を私たちも胸に刻んではいかがでしょうか。

善き行いに値する繁栄が皆さんに訪れますように。

当然得られるべきものすべてが得られますように。

必要な出費の中に慈善寄付が含まれますように。

隣人に勝ることを幸せだと考えるありふれた誤りに陥りませんように。

人生の根底にある確固たる本質を常に見失いませんように。

ただ「登る者」ではなく、「築く者」となりますように。

人生の恵みの真価を見極めることができますように。

自己の良心と正しい判断力に従って行動する自由が与えられますように。

意味のない慣習や社交付き合いに束縛されませんように。

決まりきったやり方に従う人たちに倣うことがありませんように。

正義、健全、長所、そして行動への意志を見抜く先見の眼を持つことができますように。

すなわち、皆さんに素晴らしい新年が訪れますように。

挑戦：Challenge

平成3年(1991年)、「ロータリーの手続要覧が難しすぎる。もっと易しく出来ないか？」と提言した。この要覧は「意味が解りにくくとも、忠実に訳さなければいけないため難しいのだ」と言う。オフィシャルなものは仕方ない。しかし、他の誰かが解り易く書くことは自由だ。そこで私は、「マイフレンド」の発行を考えました。160~200ページくらいのものを作りたい、と提案。そしたら反対されました。それは、「やってもなかなか思った通りにはいかないものだから」と言うもの。私は反対されるとやりたくなる性格。やらせて欲しい。お金は地区に一切負担とならぬようにやりたい、と当時の石井ガバナーの了解をもらい、発行に踏み切りました。166ページでした。皆さんの中でお読みになった方もおりました。これは8年間続けました。ここに初版をお持ちしました。毎年表紙の色を変えました。ロータリー用語集です。これが1998年に発行された最後のマイフレンドです。210ページくらいになっています。私も多忙となり、発行をとりやめました。

出来ない理由を探すより、出来る方法を探そう。これが私のテーマです。いつも出来ないことを考えて、…当社のセールスマンもそうですが、何かを言うと、「それは難しい、あれが悪い…」と。そうではない。やれる方法を探ることが大切な仕事です。

1994年、ガバナーに就任しました。このときガバナーとして年間5,500時間仕事をする、と宣言しました。5,500時間を365日で割れば、1日12~13時間になるかと思いますが…。地区役員の98%、…当時130名の地区役員がおりました。現在は100名に減じましたが…私は地区内のどなたが地区役員として積極的に私に協力してくれるかについて調査しました。電話によって直接候補となる会員に協力を要請し、99%の方は了解してくれましたが、1%の方からは断られました。地区のテーマは挑戦でした。チャレンジです。私はチャレンジという言葉が大好きです。やってみなければわからない。地区内の委員会が独自に高い挑戦目標を持つようお願いしました。結果は予想以上の新記録が多く発生しました。

潜在能力の顕在化

この様なことから、ロータリー会員の皆の能力は莫大なものを持っていると思っています。潜在的にある能力を顕在化するためには、自ら目標を設定し、チャレンジすることが何よりも大事。私はこれを会社でも応用してみて、セールスマンに次の目標として110%を提示するも、各自がこのままでなく、自分で数字目標を設定するようすすめています。例えば112%とか…低く設定せず高めになるようですが。それにより自分で責任を持てるように。

ウォールマート、世界最大の小売業。小さな町から世界最大、年間売上げ40兆円と言われる抜群の会社。このウォールマートの創業社長が社員に述べた私の好きな8つの目標を皆さんに報告いたします。

<8つの目標>

1. **高い目標を持ち、日々向上心で生きよう。** いつも前向きで、自己にとって挑戦的な目標を持つ。低い目標では自分の向上は図れない。挑むことによって潜在的なものが顕在化してくる。強い意志、決意、行動開始。そうすれば、窮すれば通ずの通り必ず出来る。
2. **負けると絶対思わない。** 不可能はない。やる意思と継続した行動力があれば、必ず 95%以上出来る。何もしなければ負けるしかない。前提条件を変えることにより、可能性が高まる。社員に何か課題を出すと「出来ません」との答えが返ってくる。これは、それまでの知識や体験からくる可能性による答えである。前提条件を変えれば可能性はどんどん出て来るものです。
3. **持たざることを嘆くな。** 他者よりハンディあることを嘆くな。資金、学歴、健康など発奮材料となる。不利なことが有利となることが多い。戦後日本人のパワーも参考に。
4. **当たり前のことを熱心にやれ。** やるべきことをやってないことが多い。難しいことより単純なことをきちんとやる。楽をしてやらない(でいると、)バブルの時と同じになる。手抜きしない、基本通りにやる。どのような場合でも定石を踏まえ、原点に戻り、我々は常に情報を吸収する必要がある。
5. **時には朝令暮改でもよし。** 変化の激しい昨今、さっき決めたことでも、昨日決めたことでも修正をいとわない。意地を張れるほど楽な時代ではない。いつも素直な気持ちで改革を。
6. **富を分かち合おう。** 奉仕の理想を基本に置く。自分だけ良ければ良いのではなく、会社も社員も利益をシェアする。悲しみも喜びも分かち合う。ロータリー家族を重視します。利益のシェアについて言えば、ウォールマートでは社員が株を持っています。株の値が上がっています。上がりすぎてウォールマートの場合すぐに1億円ぐらいになってしまうそうです。
7. **常に謙虚に、常に学ぼう。** 青少年や老人もすべて先生として学べる。時には反面教師だ。自分の考えが常に正しい訳ではない。意見の異なる人からも学べる。TPOによっても異なる。学ぼう、これが謙虚というものだ。
8. **天職発想しよう。** 与えられた仕事や役割に使命感を持って当たろう。神様から与えられた職業、ロータリーの役職、地域のボランティア、与えられた縁を粗末にせず、喜んで受け入れ、使命感を持って全力で行動するのみ。

これが創業社長の信条です。

下記の項目からクラブで挑戦できる必要な項目をいくつかお選び頂き、クラブ運営に少しでもお役に立つことができれば幸いです。

1. 基本的な考え方

1. 「四つのテスト」を重視し、個人生活、社会生活、職業生活に適用する
2. 会員は思いやりの心を持ち他人を理解しようとする
3. できない理由を探すより、できる方法を探す習慣を
4. 異なる背景の人たちと交わることも人生をさらに豊かにする
5. ロータリアンは社会人の模範でもあり、青少年の模範でありたい
6. 人と会った時の挨拶は積極的に相手よりも先にする習慣は好感がもてる
7. ロータリーは、利己と利他の調和を目的とする人生哲学と云われる
8. 親しき仲にも礼儀あり、時として言葉遣いが問題を引き起こすことがある

2. ロータリーの良いところ

1. ロータリーは知り合いを広めることができる絶好の機会と組織である
2. ロータリーを通じてたくさんの新しい友人をつくるのが可能
3. ロータリーによって自分の人生が変わったと云う人は多くおられる
4. 問題意識や目標意識が強いほど必要な情報はロータリーから得られる
5. 自分の目標となるモデルをロータリー会員から選び、自己研鑽を図る
6. ロータリアンの特典と義務をよく理解
7. 会員はロータリーを通して世界を知り世界に貢献している
8. 会員はロータリーを通して奉仕の真の目的を理解できる

3. 例会

1. 例会時間の厳守：時間延長は来訪者や、会員に迷惑、超多忙な人の集まり
2. 頻繁な例会日の変更は結果的に退会者を増加させることになる
3. 例会欠席の多い会員への気遣いと対応は早めに実施する
4. 例会の着席テーブルも定期的に更新して多くの会員と親しくなる
5. クラブは魅力的な奉仕プロジェクトや例会プログラムを常に心がけるように
6. 可能であるならば夫人同伴例会を毎月一回または年に数回実施
7. ロータリーは人生道場といわれるように例会が自分のために役立つよう意識
8. クラブ運営のマンネリ化を防ぎ、常に創造的な例会の持続を
9. 世界では夜の例会が過半数を占める、昼の例会を夜か朝の例会として検討
10. 例会をもっと有意義な時間とするための会員による創意工夫を

11. 食事のマネリ化に注意、高価でなくても新鮮みを
12. 年に何回かゲストデーを設け全会員が交代で友人や会員候補者を例会に招く
13. ロータリーは週1回例会を開く世界最古で最も伝統ある、最も大きなNGOだ
14. 会員候補者でない人も例会に誘えば広報にもよいし、数年後に入会するかも
15. 例会ではできる限り積極的に多くの人の名前を呼んで挨拶をするよう努力
16. 例会や他の諸会合を通じてロータリアンから学べることはあまりにも多い
17. 貴重な時間であり、つまらないと思われる例会をなくす努力と入念な計画
18. 活発な委員会活動と共に例会で出来るだけ委員会報告を多くする
19. 例会終了後ごとにさらに改善するところはないか確認する仕組み、毎回改善
20. ロータリーの歌だけでなく時々懐かしの歌あるいは童謡などもとり入れる
21. 他クラブと共同事務局の設置および共同例会場の検討
22. 例会でふさわしくない場面があれば反面教師として学びそして自ら改善を
23. いつも他人から学ぶ姿勢で例会や諸会合に臨む
24. 先輩は新会員の隣に座りよく話しかける
25. 私語の多いクラブは私語の少ない日に今日は良かったと誉め、協力を求める

4. 奉仕活動・委員会活動

1. クラブは奉仕の幅を広げすぎず、絞り込んだ地域社会奉仕活動を実施
2. 委員会の数はクラブの規模に沿って適正に設置
3. クラブに質問箱（意見含む）を設置し、どんなことでも担当委員会が回答
4. 委員長や副委員長の役職を十分生かす様な活発な委員会活動が人を作る
5. ロータリー財団・米山財団寄付について幅広く参加するための重要性を理解
6. ロータリー財団は年次寄付として100ドル以上を世界の会員にお願いしてる
7. 事務局員にあまり負担をかけず、可能な限り週報、通信などは会員が行う
8. 各委員会の運営基準や行動マニュアルの作成と定期的な見直しを
9. ロータリー組織と地域社会奉仕の内容を分かりやすく地域に広報する
10. 親睦と奉仕のバランスを意識する
11. クラブ会員としての自己啓発と社会のために役立つことへの理解と実践
12. 地域社会に対してロータリーへの理解を深めてもらうことが広報の基本

5. 増強

1. 社会人としての倫理観、信義感、そして社会に対して奉仕の気持ちを持つ人を
2. 頻繁な例会日の変更は結果的に退会者を増加させることになる
3. 誰も退会しようと思った経験があり我々には退会を思い留めさせる義務あり
4. 長期欠席会員には会長と増強委員長が訪問し、話し合って対応
5. 同業者、友人、親戚、近隣の方そして趣味を同じくする人を誘う

6. 未来にロータリーを託す人材づくりのための増強と会員研修が必要
7. 8月の会員増強および拡大月間で、年度最大の増強キャンペーンを実施
8. 退会者は本当の退会理由を云わない場合が多いので事前に真の問題点を推測
9. 少ない礼金で価値ある卓話者として協力してくれる人を地域社会で探す
10. 会員増強の成功例を探し参考にする
11. 増強が難しいという前に今までにどれだけ深く増強に努力したかを反省
12. 同じ条件であってもすばらしい増強をするクラブもある。何故だろうか
13. 増強は拡大の時と同様に全員参加により、グループ単位で計画と実践を
14. 会員になるよう誘われたことのない人がどこにもまだ沢山いるという
15. 多忙な人を推薦する。多忙な人ほど時間の作り方がうまいからです
16. 私達は誰かの推薦によって会員になった。今度はそのお返しの番です
17. 元ローターアクター、元 GSE メンバー、財団プログラム学友を入会に誘う
18. 管理職や専門職務に携わる 40 歳以下のクラブの設立、年会費 10 万程度も可
19. 40 歳未満の会員に年会費を半額にするなどで若い会員を入れることも検討
20. 年に何回かゲストデーを設け全会員が交代で友人や会員候補者を例会に招く
21. 1989 年女性会員の入会が認められ、現在世界の女性会員は 19 万人を超えた
22. 女性会員は世界で 15.5%ですが日本は 4 %であるので今後期待が大
23. 会員候補者でない人も例会に誘えば広報にもよいし、数年後に入会するかも
24. 新会員が 1 年以内に会員候補者を紹介することも一案
25. クラブの全会員が 5 年ごとに最低一人以上候補者を推薦
26. 将来は女性会員の新クラブ創設が多くなるでしょう

6. 研修

1. 5 年未満の新会員研修を適時行う
2. 未来にロータリーを託す人材づくりのための増強と会員研修が必要
3. 新会員だけでなくその他の会員にもロータリーの基本情報の提供が必要
4. ロータリーへの熱意や魅力作りはロータリーを深く理解することから
5. 会員への十分なロータリー情報の提供「好きこそものの上手なれ」
6. 新会員について、入会前の正しい情報提供が退会防止につながる

7. 会長の心構え

1. 派閥がなく風通しの良いクラブづくり
2. みんなが仲良く、誰とでも話し合いができる雰囲気づくり
3. 老・壮・青の年齢バランスも重要であり、クラブの中・長期計画にも載せる
4. 会長は謙虚さをもちクラブ運営に於て誰からでも意見やアイデアを聞き改善
5. 長期欠席会員には会長と増強委員長が訪問し、話し合って対応

6. クラブは 3-5 年の中長期計画を作り、計画に沿って毎年実行する
7. クラブ会長、幹事のやる気がクラブの充実と活性化を促進
8. クラブ固有の特徴と長所を探し、適時改善しながら全会員でそれを共有
9. 会費の見直しと委員会の支払い経費分析で予算の有効活用を
10. クラブ会長がエレクト時から増強に努める
11. 良いことがあったら誉める。 行動、奉仕、達成、偉業、お祝い、仕事、親切
12. 常に会員の適切な役職と各種会合で会員の出番を作るよう配慮
13. 会員のためになる、意義ある年間プログラムの計画と定期的評価を
14. 会員にとって何が最も重要かを明確にするためのアンケート調査を
15. 各会員の長所を見つけ、それを認め信頼する

8. その他

1. 従来よりも会場費の安い場所に変えられないか検討
2. ロータリー・クラブ年会費以外の臨時徴収がないように注意する
3. 日本におけるロータリー・クラブの平均年会費は世界で最も高い水準
4. 先輩会員は新会員を Make-Up 地区大会、国際大会に連れて行くよう努力する
5. どんな組織も長所と短所があり、ロータリーの長所が多いから 105 年続いた
6. 2004-2008 年に合併したクラブ数は世界で 119 件その内日本は 12 件でした
7. 会員の三つの義務：会費を支払う、ロータリー誌を買って読む、出席する
8. 新会員や若い会員がクラブに溶けこめるよう先輩が親しく声をかける
9. 魅力とは人の心を引きつけ、夢中にさせる不思議な力を云う
10. 諸会合にて国際ロータリーの席次を守る 2007 手続き要覧 60-70 頁を参照
11. 先輩会員が新会員に温かい気持ちで個人的体験談やロータリー話をする習慣
12. 会員の奥様も会員やクラブに対しても協力して頂く
13. 各クラブ会員がそのクラブにおいて絶対に必要な存在であるよう考える
14. 記念行事などにできるだけ奥様や家族、ゲストを積極的に迎える
15. 新会員への思いやりと親切なフォローアップを
16. 世界地域の歴史、文化、伝統、言語、習慣などそれぞれの多様性を理解する。

履歴書

田中作次

ロータリー歴



| | |
|----------|---|
| 1975年～ | 八潮 RC 創立会員 |
| 1980～81年 | 八潮ロータリー・クラブ会長 |
| 1988～89年 | RI 第 2770 地区 分区代理 |
| 1994～95年 | RI 第 2770 地区 ガバナー |
| 1996～98年 | ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC) |
| 1997～98年 | RI 国際協議会 トレーニング・リーダー |
| 1997～01年 | RI ロータリー財団恒久基金日本研究グループメンバー |
| 1997～10年 | 地区大会の RI 会長代理 14 回 (海外 4 回含む) |
| 1998～99年 | RI ロータリーの夢委員会 委員 |
| 1999～01年 | RI 指導力養成・研修委員会 委員 |
| 2000～01年 | RI 他団体との提携グループ委員会 委員 (ゾーン 2) |
| 2001～02年 | RI 2002 年バルセロナ国際大会推進グループ 委員 |
| 2001～02年 | RI ロータリー百周年記念事業基金委員会 委員 |
| 2001～02年 | RI ロータリー社会奉仕プログラム 委員 |
| 2001～03年 | RI ロータリー・センター実施グループ 委員 |
| 2001～03年 | RI 世界平和奨学生選考委員会 委員 |
| 2001～05年 | ロータリー財団の恒久基金日本委員会 委員 |
| 2002～03年 | RI 地区大会検討委員会 委員 |
| 2002～03年 | ビチャイ・ラタクル RI 会長主催アジア平和会議 副委員長 |
| 2003～05年 | RI 理事 (ジョナサン・マジアベ&グレン・エステス) |
| 2003～05年 | ロータリーゾーン研究会招集者 (2003 年東京・2004 年広島) |
| 2003～05年 | ロータリー・センター委員会連絡担当理事 |
| 2003～04年 | 大阪国際大会推進連絡担当理事 |
| 2004～05年 | グレン・エステス RI 会長主催祝賀会議 実行委員長 |
| 2005～06年 | TRF Member of Chairman's Advisory Committee |
| 2005～07年 | TRF Member of Rotary Peace Center |
| 2005～08年 | ロータリー財団の恒久基金日本委員会 委員長 |
| 2005～10年 | ロータリー財団未来の夢委員会 委員 |
| 2006～07年 | ロータリー世界平和シンポジウム組織委員会 委員 (国際大会) |
| 2006～07年 | 2008-09 年度 RI 会長ノミニー指名委員会 委員 |
| 2006～08年 | ロータリー財団の資金開発委員会 委員 |
| 2006～08年 | 2008 年ロスアンゼルス国際大会委員会 委員 |
| 2006～11年 | TRF ポリオ撲滅提唱グループ 委員 |
| 2006～10年 | ロータリー財団管理委員会委員 |
| 2007～08年 | ロータリー研究会の財団管理委員代表 クアラルンプール |
| 2007～09年 | ロータリー財団学友諮問委員会連絡担当管理委員 |
| 2007～09年 | 2009 バーミンガム国際大会委員会委員長 |
| 2008～09年 | 2010-11 年度 RI 会長ノミニー指名委員会 委員 |
| 2008～09年 | ロータリー財団の資金開発委員会 委員長 |
| 2008～09年 | ロータリー財団の恒久基金日本委員会 副委員長 |
| 2008～09年 | ロータリー研究会の財団管理委員代表 インディアナポリス USA |
| 2008～10年 | ロータリー財団管理委員会執行委員会委員 |
| 2008～09年 | RI 職業奉仕委員会 Liaison Trustee |

| | |
|------------|--|
| 2008～09年 | Liaison Trustee of the NPO Rotary Foundation Japan |
| 2009～10年 | ロータリー財団財務委員会 委員 |
| 2009～10年 | 恒久基金台湾・ホンコン・マカオ委員会 Liaison Trustee |
| 2009～10年 | 恒久基金日本委員会 Liaison Trustee |
| 2009～10年 | ロータリー研究会の財団管理委員代表 Port Alegre in Brazil |
| 2010年～ | 日本国際連合協会 理事 |
| 2010年10月1日 | 2012-13年度 RI会長ノミネーに指名される |

表彰

超私の奉仕賞、国際ロータリー会長賞、
ロータリー財団功労賞、
ポール・ハリス・ソサエティ創立会員、米山功労者、
アーチ・クランフ・ソサエティ創立会員、メジャードナー、
財団遺贈友の会創立会員、ロータリー財団特別功労賞

財団基金設立

冠名世界平和 Fellowship 基金設立（エバンストン本部）
田中作次冠名ロータリー世界平和奨学生6名を世界の平和センター大学
に派遣（外国人3名、日本人3名）

Arch Klumph Society charter member (1997)

SAKUJI TANAKA ENDOWED ROTARY WORLD PEACE FELLOWSHIPS

| Gift | Fellow's Name | Sponsor District | Assigned Rotary Center |
|--------------------------|--------------------------|------------------|------------------------|
| 2002-04 Program Year | | | |
| Sakuji Tanaka Endowed(1) | Amritha Fernandes-Bakshi | 5370/Canada | Bradford |
| Sakuji Tanaka Endowed(2) | Beyene Zewdineh | 9200/Ethiopia | Berkley |
| 2003-05 Program Year | | | |
| Sakuji Tanaka Endowed | Miho Kishitani | 2770 /Japan | Bradford |
| 2005-07 Program Year | | | |
| Sakuji Tanaka Endowed | Akiko Okudaira | 2750/ Japan | UQ |
| 2006-08 Program Year | | | |
| Sakuji Tanaka Endowed | Johanna Stratton | 2590/Japan | ICU |
| 2008-10 Program Years | | | |
| Sakuji Tanaka Endowed | Yuka Nagatani | 2750/Japan | Bradford |